

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>平成28年度 座学が苦手な生徒への授業参加の工夫について</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input checked="" type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input checked="" type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input checked="" type="checkbox"/>家庭/技術/家庭 <input type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input type="checkbox"/>自立活動 <input type="checkbox"/>各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/>その他の教科 <input checked="" type="checkbox"/>その他(職業家庭)</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>社会人に向けて・くらしの知恵「食べる時、気をつけること」</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・屋食の適切な量や栄養素について、自ら考える力を身につける。 ・野菜などの不足しがちな栄養素を十分に取るためには、可能な限り、家で調理したものを食べるのが大切であることが分かる。</p>
	<p>観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>「知識・理解」 <input type="checkbox"/>「技能」 <input type="checkbox"/>「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/>「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/>その他()</p>
<p>学習集団と子どもの実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 <input type="checkbox"/>小学生 <input type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない 3年 8人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/>知的障害 <input type="checkbox"/>肢体不自由 <input type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 <input checked="" type="checkbox"/>自閉症 <input checked="" type="checkbox"/>情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/>LD(学習障害) <input checked="" type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/>その他</p>
	<p>子どもの課題(特性・ニーズ)</p>	<p>・社会人になると学校給食がなくなり、職場や福祉事業所の休憩時間を利用して、自ら考えて屋食を取らなければならない。自分の好きな物だけを食べるのではなく、量や栄養素のバランスを考え、適切な食事を取ることが課題となる。 ・休日は親が仕事で不在の家庭が多く、食事についての質問をすると、コンビニ弁当やカップラーメンを食べていると答える生徒も多い。社会生活に向けて食に関する正しい知識を指導する必要がある。</p>
<p>ICT活用について</p>	<p>使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)</p>	<p>自作教材(コンビニ買い物キット) </p>
	<p>活用のねらい</p>	<p>Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input checked="" type="checkbox"/>B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/>C1教科学習支援 <input type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input type="checkbox"/>C3社会生活支援) 買う物を自分で選ぶ活動、選んだ教材のシールを剥がす活動、カロリーや栄養素の数値を調べる活動など、多くの活動を授業に盛り込むことで、座学が苦手な生徒でも最後まで集中して学習活動に参加できる。</p>
<p>授業に授お業展ける開支援</p>	<p>授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)</p>	<p>①本時の学習内容や目標を確認する。 ②予算800円でコンビニの屋食を考え、実際に購入までの流れを体験する。 ③カロリーが書かれているシールを剥がし、自分が選択した物の値段と総カロリーを計算する。 ④栄養素が書かれているシールを剥がし、自分が選択した物の栄養素をレーダーチャートに記入する。 ⑤一日に摂取するべきカロリー数や、栄養素についてまとめた表を提示する。 ⑥コンビニ食をバランス良く摂るために、家庭から持って来ると良い万能な食材など、社会生活を見据えた食に関する知識や考え方について、栄養教諭が解説した映像を流す。 ⑦授業を通して感じたことや、自己評価を記入する。 </p>
	<p>効果・評価</p>	<p>子どもの様子や変容および授業の評価</p>